

第2回とよた絵本コンクール最優秀作品

ぼんちの木

さく 河村まこと



第2回とよた絵本コンクール最優秀作品

ぼんちの木



さく 河村まこと

なつやすみ

ベランダの木に 水を あげるのが

ぼくの しごと





しぼくすると

ぼくのせよりも おおきくなって

はっぱを ニコニコ ゆらしてた

うれしかったので たっぷり 水をあげた



また しばらくすると
木は もっと もっと おおきくなって
とりが あそびにくるようになった
うれしかったので
もっと もっと 水をあげた



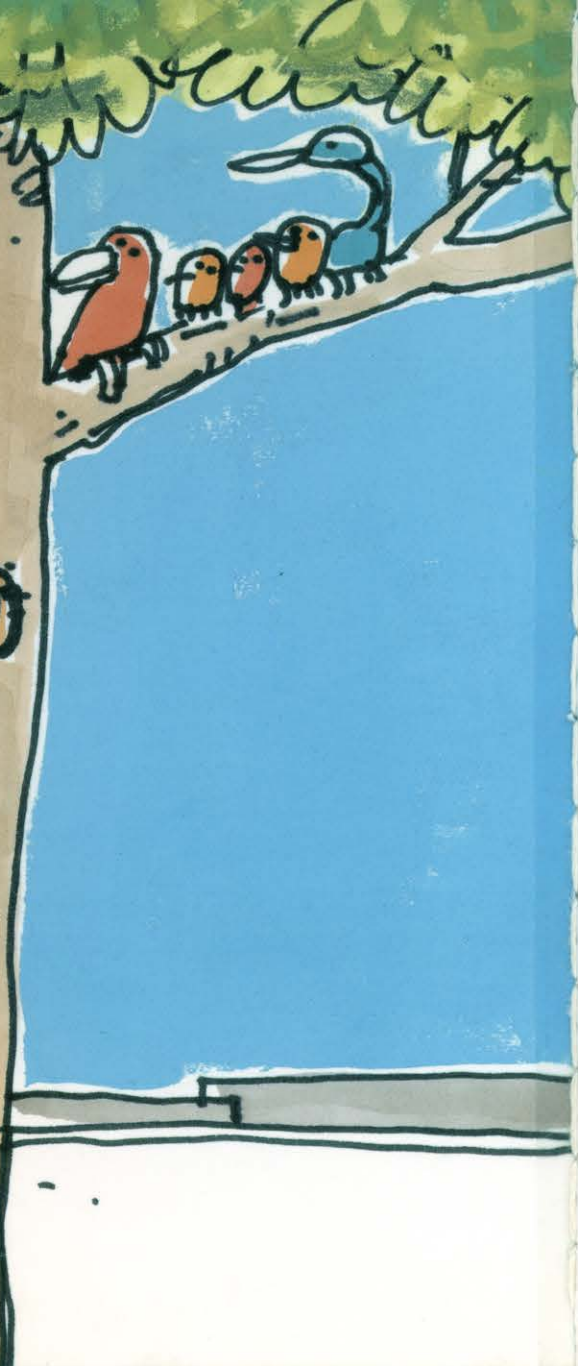
また しばらくすると
木は もっと もっと もーっと 大きくなって
セミヤカラスやカブトムシ そして リスマで
あそびにくるようになった

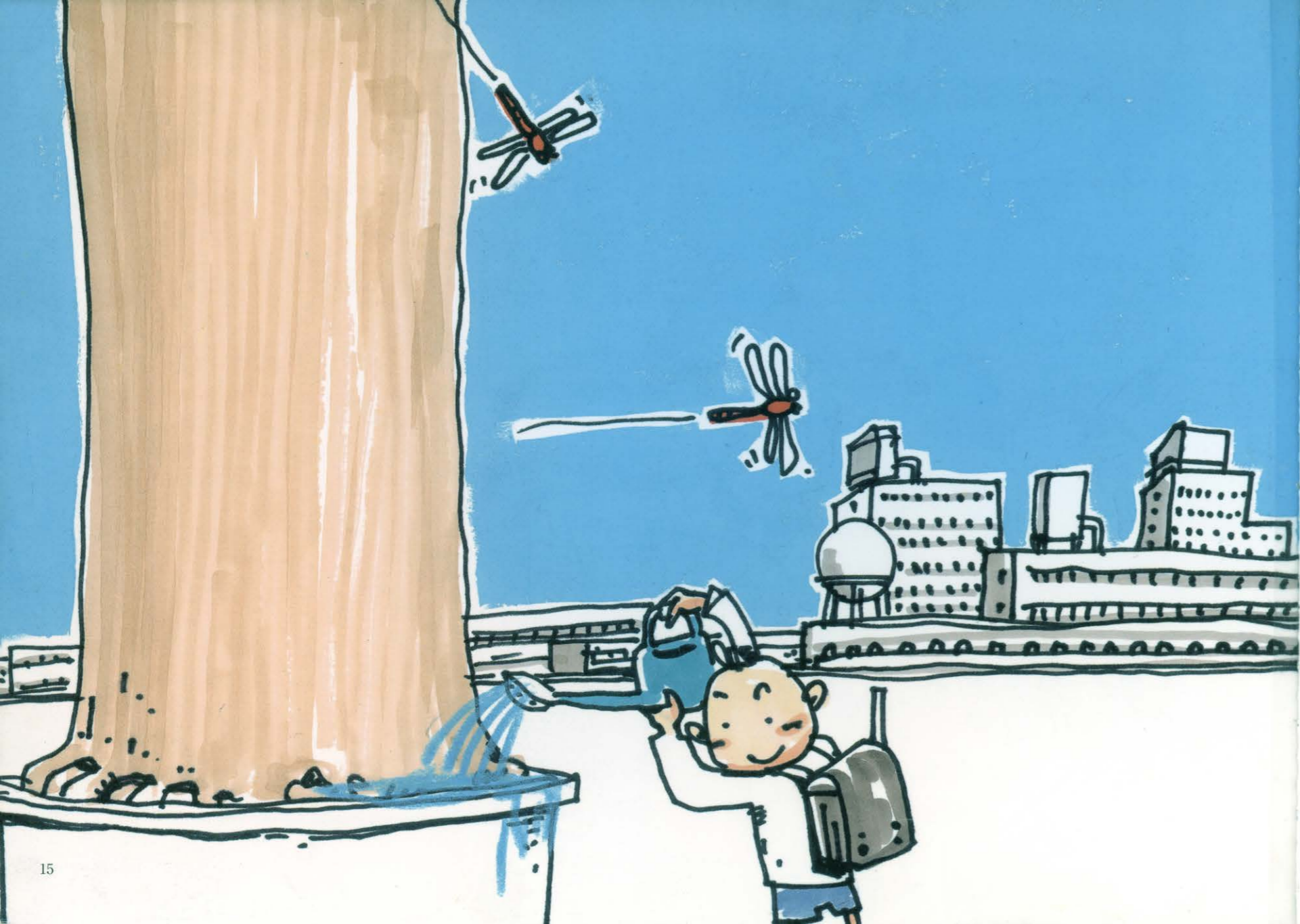


そーく おとうさんが やってきし
「おおきく そだったね」
と かんしんしてくねて



ふじやいしんがくをみた

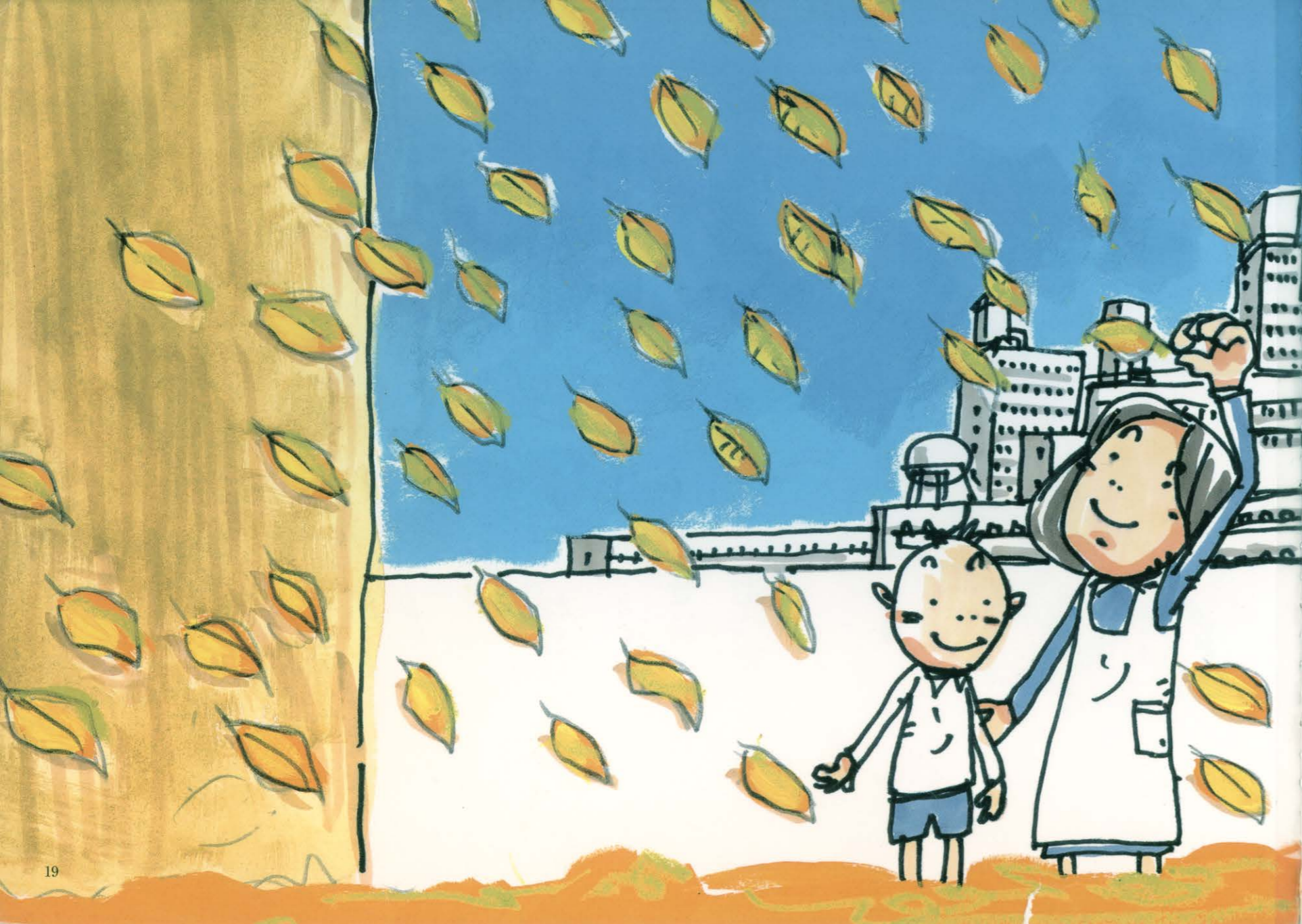




やがて なつやすみも おわり
あきになっても 水をあげた



木は ころようを はじめ
たくさんの はっぱを ふらせ
ベランダは おちばで いっぱいになった



そこへ おかあさんが かえってきて
ふっかふかな おちばを みて

「きょうはおちばのふとんでねむりましょう」
とていあんした
ぼくもおとうさんもだいさんせい
そらをみながらみんなでねむった





ぼくは この木が
おとうさんの かいしゃからも
おかあさんの おみせからも
ぼくの がっこうからも みえるぐらい
おおきく そだてようと おもった

著者プロフィール

河村まこと

1972年豊田市生まれ。
奈良芸術短期大学卒。

著者コメント

このオハナシはボクの理想を描きました。
ボク自身こうありたいという思いを描きました。

第2回とよた絵本コンクール (愛・地球博パートナーシップ事業)

2005年開催の愛知万博の趣旨に学び、
市民一人一人が自然の叡智に耳を傾け、
そのあるべきかたちを原点に立ち返って
問い直すことが求められています。
とよた絵本コンクールは万博のテーマ『自然の叡智』を
取り上げ、心のこもった夢あふれる絵本を通じて、
次世代を担う子どもたちに、21世紀に生きるための
メッセージを残そうとするものです。

ぼくんちの木

2005年2月25日 初版第1刷発行 著者／河村まこと (かわむら まこと)
発行／豊田市中央図書館 〒471-0025 豊田市西町1-200 印刷・製本／東名印刷株



©第2回とよた絵本コンクール 主催／豊田市中央図書館 主管／とよた絵本コンクール実行委員会
後援／(財)豊田市文化振興財団 連携協力／(財)2005年日本国際博覧会協会

